

額県営住宅 44・45号棟



額県営住宅団地の44・45号棟は、昭和39～40年度に建設された建物であり老朽化が著しく、また、住戸内に浴室がない。このため、現代のニーズにあう間取りや設備とし、合わせて少子高齢化及び環境・バリアフリー対応を行うことを目的として、平成23年10月より44号棟から順に建替事業を行う。

■バリアフリー対応

バリアフリー対応として、安心して自立生活が営めるよう、全住戸内及び共用空間のバリアフリー化を行う。特に1階には多様な住民が生活出来るよう車椅子対応住戸を2戸設ける。

また、上下階の移動に対応するためエレベーターを設置する。



■コミュニティ形成への配慮

住戸配置を世代が偏らないように混在させ、世代間交流を促し良好で多様なコミュニティの形成を計る。

また、共用空間ではコミュニケーションプラザや屋上広場を整備し、高齢者等が住戸以外でも憩える外部空間を設ける。

■子育て世帯への配慮

3LDKを子育て支援住宅と位置付けて整備を行う。対面キッチンの設置や一般住戸より大きな浴室を設けるなど子育てがしやすい住環境を整備する。

DATA

①居住施設

金沢市額新町1丁目地内

平成23年10月～平成26年1月

(44号棟)

鉄筋コンクリート造:地上4F 35戸

延床面積2,469.71㎡

(45号棟)

鉄筋コンクリート造:地上4F 29戸

延床面積2,011.53㎡